

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Basal cell carcinoma treated with Mohs surgery in Australia II. Outcome at 5-year follow-up	
	論文の日本語タイトル	オーストラリアにおける基底細胞癌に対する Mohs surgery II.5 年後の治療成績	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCCQ17-4	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	16112352	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Journal of the American Academy of Dermatology	
	雑誌 ID		
	巻	53	
	号	3	
	ページ	452-457	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2005	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Leibovitch I	Oculoplastic and Orbital Division, Department of Ophthalmology and Visual Sciences, Royal Adelaide Hospital, University of Adelaide
その他著者 1		Huilgol C	
その他著者 2		Selva D	
その他著者 3		Richards S	
その他著者 4		Paver R	
その他著者 5			
その他著者 6			

一次研究の 8 項目	目的	基底細胞癌に対する Mohs surgery の有用性を検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	オーストラリアの大学病院	
	対象者	1993～2002 年の基底細胞癌患者 3370 例（初発 1886 例、再発 1484 例）	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）	Mohs surgery（凍結組織法）	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	5 年再発率	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	5 年再発率は初回治療病巣で 1.4%、再発病巣で 4%であった。 再発予測因子として有意と考えられたのは、再発歴、Mohs surgery 前の期間、浸潤性の組織型、Mohs ステージ数であった。	
	結論	Mohs surgery による 5 年再発率は低く、有用な治療法である。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	竹之内辰也	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 組織型については検定上の有意水準は満たしていないが、著者は有意と結論付けている。	